

尾張



TOTO  
隅田 蓉子  
二科会所属

ニュース、情報は  
社会部  
052-231-1650  
Eメール  
shakai@chunic

一宮総局 〒491-0  
一宮市大江1-13  
0586-72-4545 Fa

津島通信局  
0567-28-2157 Fa

稲沢通信部  
0587-32-8800 Fa

江南通信部  
0587-54-4001 Fa

蟹江通信部  
0567-95-3022 Fa

春日井支局  
0568-81-2036 Fa

大山通信局  
0568-61-2612 Fa

小牧通信局  
0568-72-1177 Fa

中日新聞へのご  
読者センター  
052-221-0800 Fa  
Eメール  
center@chunic

掲載写真を購入希  
最寄りの中日新聞

小さな日記



レ作りです。なぜな  
らそれらの体験は、ふ  
だんあまりないから  
です。みんなで力を合  
わせて作った五平もち  
心に残りました。

# ルーブル美術館に出展

一宮市出身で、家族や人のつながりをテーマに水彩画を描いている新潟県糸魚川市の梅津諭さん(三〇)と和枝さん(三三)夫妻の作品が十七日まで、仏ルブル美術館で開かれる国際的な展覧会「サロン・デ・ポ・ザール」のイラスト部門に出展される。フランスでも多発したテロなどで世界が分断されることを憂い、「戦争のない世の中を」との思いを込めて描いた。

(高本容平)

梅津さん夫妻は、名古屋で人のつながりを強める人が集まっている姿を屋市のイベント企画会社「たい」(諭さん)との思描く画風が特徴だ。

七年前に知り合い、二〇一四年の結婚を機に独立。芸術ユニット「カテイトエ」を結成した。「家庭と絵」をカタカナにした造語で、「絵を通して、会社の同僚など複数



ルーブル美術館に出展する作品を手にする梅津諭さんと和枝さん。一宮市の中日新聞一宮総局で

## 一宮出身、梅津さん夫婦の水彩画

術協会(SNBA)が主催。近年は世界の約六百組の芸術家に参加する作品コンテストで、絵画、彫刻、写真、イラストの四部門がある。今年六月、フェイスブックで夫妻の絵を見たというSNBAのイラスト部門責任者のフランス人女性から出展を勧められ、参加を決意。九月下旬に第一次審査を通過して出展が決まった。

縦六十センチ、横四十センチの四枚のパネルにボールペンと水彩絵の具で一カ月かけて制作。フランスは多入種国家で、テロも多発していることを念頭に、人種や職種、年齢もさまざまな人々が手をつないで円になり、笑顔でジャンプする瞬間を躍動感たっぷりに表現した。

「世界が人種や性別を超えて一つになり、個性を認め合える平和な世に」と諭さん。人々の円の内側には鮮やかな七色の虹が、外側にはふるさと一宮市の展望タワー「ツインアーチ138」やエッフェル塔、自由の女神が細やかなタッチで円状に描かれている。

梅津さん夫妻は渡仏し、展覧会に参加。賞は各部門に金、銀、銅などが十賞あり、審査結果は七日に発表される予定。

## 精巧な花瓶や小物入れ あまで七宝焼の新作展示



七宝焼の新作が並ぶ会場＝あま市七

七宝焼の新作展示会「第三十五回七宝焼展」が一日、あま市七宝焼アートヴィレッジで始まった。三日まで、期間中は観覧無料。生産技術の向上を目的に「七宝町七宝焼生産者協同組合」(あま市)が主催。同組合の生産者七人が計二十一点を出品した。名古屋七宝協同組合(名古屋市中区)からも十一点が協賛出品されている。

(大野雄一郎)